

令和6年度 土浦協同病院附属看護専門学校 学校評価総括(自己点検・学校関係者評価)

1. 学校評価の目的

学校活動全般について自己点検・自己評価を行い、その結果に基づいて自己改革を行うとともに、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために行う。

2. 定義

「自己評価」とは学校教育法の定めにより、本校職員が自ら学校の状況について評価を行うことをいう。

「学校関係者評価」とは、同法より「自己評価」の結果を看護学校運営会議において外部委員及び学校関係者において、審議・決定された評価をいう。

3. 教育目的

看護師として必要な知識及び技術を教授し、農協理念に基づき社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

4. 本年度の重点課題

- 1)有能な看護師養成をはかるための学生確保
- 2)質の高い看護師の育成
- 3)教育の質の維持向上
- 4)就職先との連携による卒後の継続支援
- 5)カリキュラム実践と評価

5. 評価日及び評価者

自己点検： 1次評価 教員全員 令和7年3月21日実施 2次評価 管理職 令和7年4月1日実施

学校関係者評価： 学校関係者 令和7年9月27日実施

茨城県厚生農業協同組合連合会	理事長	長谷川博史
同	副理事長	渡邊宗章
同	副理事長	滝口典聡
同	理事	神藤貴道
同	看護統轄管理部長	関根洋子
同	看護統轄管理部副部長	山本順子
同	看護統轄管理部助産師	深澤千映子
同	看護統轄管理部事務	佐藤稔
総合病院土浦協同病院	副院長兼看護部長	宮本佳代子

6. 評価項目と達成状況

評価基準 3:基準を満たす 2:おおむね基準を満たす 1:不適切

項目	自己点検	学校関係者評価・意見	
I 学校運営	3	3	
II 教育課程・教育活動	2.97	2.9	ルーブリック評価の妥当性を含め、継続したカリキュラム検討を行う
III 学習成果	3	3	
IV 入学・卒業生支援	2.97	2.9	入職後の学校からのラウンドによる支援をして欲しい。
V 学生支援	3	3	
VI 教育環境	3	3	
VII 教職員能力向上	3	3	
VIII 広報地域活動	3	3	
IX 法令遵守	3	3	
合計	2.99	2.97	

*自己点検の評価内容と結果は別欄に記載

7. 評価まとめ・今後の課題

自己点検と学校関係者評価はほぼ合致していた。

I 学校運営、II 教育課程教育活動

- ・円滑な学校運営に取り組むことができた。
- ・カリキュラム改正後3年が経過し大きな問題は見られないが、ルーブリックの基準が充分でなく評価の検討を進めたい。

III 学習成果、V 学生支援、VI 教育環境

- ・学生に合わせた指導体制や学習しやすい教育環境の整備を行うことができた。引き続き目標達成に向け取り組みを進めたい。

IV 入学・卒業支援

- ・積極的な広報活動などにより、入学者の確保ができた。
- ・卒業後関連施設と連携し支援することができた。意欲を持ち働き続けることができるような支援の取り組みを検討し継続したい。

VII 教職員の能力向上

- ・研修体制の支援を行うことができた。研修をアウトプットできる体制を継続したい。

VIII 広報地域活動

- ・積極的に地域交流・ボランティア活動に取り組む、活動の拡大につながった。継続したい。

IX 法令遵守

- ・法令遵守し、適正な学校運営に努めることができた。